

武力で平和はつukれない! とりもどそう憲法いかす政治を2024憲法大集会



5月3日、平和といのちと人権を15・3憲法集会実行委員会主催の「武力で平和はつukれない! とりもどそう憲法いかす政治を2024憲法大集会」が、東京・有明防災公園で開催されました。当日は3万2千名が結集し、JR総連からは170名を超える仲間が参加しました。

主催者を代表し、総がかり行動実行委員会の小田川義和共同代表は、岸田政権による軍事費倍増、日米軍事一体化など憲法を逸脱する暴走に対し「今日を起点に憲法を守る運動のうねりを大きくしよう」と訴え、衆院3補選で自民党が議席を失ったことについて「自民党政治への怒りの強さだ。暮らして、ジェンダー平等、災害復興でも障害になっっている自民党政治を終わらせるため、国民の力を寄せ合おう」と呼びかけました。その後、伊藤真弁護士は、「政府に戦争させないとした憲法に私たちは守られてきた。今度は私たちが憲法を守る責任を果たさなければならぬ」と呼びかけました。続いて、新外交イニシアチブ代表の猿田佐世弁護士は、「軍事力をどんなに高めても、ちよつとした誤解で大戦争になる」と指摘し、「外交で緊張を緩和することがなにより必要だ」と訴えました。

立憲民主党の逢坂誠二代表代行は、「裏金議員が憲法の議論をする正当性はあるのか」と述べ、疑惑を持たれている自民党議員が憲法改正を唱えることが「異常な姿だ」と訴えました。

次に市民連合の長尾詩子さんより「ジェンダー平等のために改憲させない。戦争する国にしない。来る解散・総選挙で私たちの声を届ける議員を国会に送ろう」と連帯のあいさつがあり、その後のリレートークでは、福島原発事故、外国人の人権、辺野古新基地建設、核兵器廃絶、ガザ軍事侵攻について、各分野の代表から報告と訴えが行われました。

集会後のパレードでは、「武力で平和はつukれない!」「守ろう! 平和・いのち・くらし」「憲法いかす政治を!」などのプラカードを掲げ、戦争反対! 軍拡反対! 改憲反対! 辺野古新基地建設反対! 原発再稼働反対! などと力強く声を上げ、市民に対して軍事大国化へと突き進む日本の危機を訴えると共に、平和憲法9条を守り広めることの大切さを訴えてきました。

現在、岸田首相は、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射などを背景に台湾有事を扇動し、軍備増強と憲法改悪にむけ突き進んでいます。目の前の平和の危機を受け止め、77年間守り抜いてきた平和憲法9条の大切さを、職場と地域から広めていきましょう。

第14回日韓協力会議を開催



光州事件犠牲者へ献花する



韓国の仲間たちとともに

JR総連は4月14日、第14回日韓協力会議を、韓国・光州市において、韓国軌道協議会、国際労働者交流センター（ICLS）韓国本部と共催で開催しました。

会議には14組織から30名が参加。日韓両国の状況について報告し、日本では岸田政権による軍事力強化、労働法制の改悪が目論まれていることを報告。総選挙で野党が大勝した直後の韓国においても、与党保守政権の質は日本と変わらず、野党が大勝しても手放しでは喜べない現実を共有することができました。また、コロナ禍を挟んだ、この間の日韓交流の総括を行い、今後1年間の日韓交流計画を確定しました。

さらに、ソウル交通公社労組では政府からの不当な弾圧により、組合役員の解雇が行われていることが報告され、不当な労組弾圧に抗議する声明を参加した全14組織の合意により採択しました。

会議翌日には、1980年に当時の軍事政権が民主化を求める市民に発砲し、多くの犠牲者が出た光州事件の現地踏査を行い、参加者全員が、あらゆる弾圧に抗し、闘い続ける決意を新たにしました。

JR総連は、今回の会議で確定した交流計画のもと、今後も日韓労働者の連帯強化に向けて、取り組みを進めていきます。

台湾鐵路企業工會との定期交流を開催



地震被災地を視察



台湾鐵路企業工會の仲間と意見交換

JR総連は4月23日～26日、台湾で行われた台湾鐵路企業工會との定期交流に代表を派遣しました。

台湾の鉄道は昨年12月に公社化されたことから、その状況について説明を受け、質疑応答が行われました。台湾側からは、闘争の過程で労働者の利益を守るために議論を積み重ね、組合員の利益を守り抜いたことが報告されると共に、残された課題についても引き続き解決に向けて闘い抜く決意が語られました。

また、今年4月3日に発生した震災の被災地と2021年4月2日に発生した特急列車脱線事故現場を視察。被災地の視察では、震災当時の生々しい状況を現場の鉄道労働者から直接聞くと共に、被災地の花蓮分会代表に見舞金を手渡しました。見舞金は後日、各職場に手渡され、現地支援に役立てられました。また、事故現場の視察では、徐行する列車から現場を視察し、当時の状況について詳しく説明を受けました。

JR総連は定期交流や国際労働者交流センター（ICLS）の活動を通じて、台湾の鉄道労働者との交流を深めると共に、鉄道民営化や安全問題、災害対策などの共通課題について議論を継続していきます。

組合員と家族による5連協「春の運動会」 in 昭和記念公園



タイミングあわせて大縄跳び



「ヨーイッ! ドンッ!!」

4月20日(土)、JR総連は「組合員と家族による5連協『春の運動会』 in 昭和記念公園」を開催し、組合員・家族50名が参加しました。またお忙しい中、衆議院議員・末松義規事務所から秘書お二人にご来賓としてご参加いただきました。

当日は快晴に恵まれる中、「ミニソフトボール大会」「子どもたちによる徒競走」「チーム対抗大縄跳び」で汗を流し、組合員は日ごろの運動不足を感じながら、子どもたちは元気いっぱい、「珍プレー・好プレー」連続の笑顔あふれる運動会となりました。

運動会終了後は、公園内でバーベキューをおこない、親睦を深めました!

鉄研労「国会議事堂見学&衆議院本会議傍聴」

4月5日、JR総連と鉄研労は、JR総連推薦議員懇談会共同代表・衆議院議員・末松義規氏(東京19区)のご協力をいただき、国会議事堂見学会を開催しました。

末松義規議員との昼食懇談会では、鉄道総研の役割や研究内容等について有意義な意見交換を行いました。衆議院本会議では、「産業競争力強化法改正案」の審議が執り行われており、JR総連推薦議員懇談会所属の衆議院議員・荒井優氏(北海道3区)が代表質問に立ち、産業政策の現状や自民党の裏金問題などについて指摘する白熱した質疑の様子を傍聴することができました。

その後は、国会議事堂内と議員会館内を見学し、参加者からは「本会議を間近で見学することができてよかった」「今後も見学会を開催してほしい」などの感想が述べられました。

末松義規事務所をはじめ、JR総連推薦議員懇談会所属の多くの国会議員事務所からも、「国会見学はいつでも承ります。お気軽にどうぞ」と声をかけて頂いています。組合員はもとより家族も含めて見学会は可能ですので、単組を通じてJR総連への問い合わせをお待ちしております。



9条連「第18回全国総会・講演会」



4月10日(水) 目黒さつきビル会議室にて、9条連「第18回全国総会」がWeb併用で開催されました。

冒頭、植野妙実子共同代表は挨拶で、「日本国憲法前文で『平和のうちに生きる権利』が明確にされている。憲法の3つの原則は、『国民主権』、『基本的人権の保障』、『恒久平和主義』である。現在のウクライナ軍事侵攻やパレスチナ・ガザ地区での殺戮を目にする、『人権は平和があつて、はじめて保障されるものだ』ということ。武器購入とか、防衛費増額ではなく、周辺国と平和条約を結び、恒久的な平和を実現させることが、政治家の大きな役割である。しかし、岸田政権は戦争する国にむけ改憲を行なうこと明言している。不見識も甚だしい。

私たちが9条連は、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指し、『平和・人権・民主主義』を守り抜くため、多くの仲間と連帯し、取り組みを強化していかなければならない。頑張りましょう!」と訴えました。

続いて事務局より、新たに共同代表に就任した福島県立医科大学の藤野美都子氏の紹介、当面する取り組み、会計報告などを提起し、各地域からの発言を受けた後、齋藤弘敦事務局長のまとめをおこない、提起された方針をはじめ総会アピールについて満場一致で確認されました。

総会後は第2部「講演会」として、元外交官で作家として活躍されている佐藤優氏より「世界・日本の情勢とあるべき未来」と題した講演をいただき、佐藤氏は「絶対に戦争をさせてはならない。9条連が憲法9条を守りぬいてきた活動と存在意義は、今後も重要である」と訴えられました(講演内容については、9条連ニュースNO.351に掲載)。

JR総連は、9条を守り抜き、戦争のない平和で安心して過ごせる社会を実現するために、9条連の仲間と取り組みを進めるとともに、9条連会員の拡大を目指します。

SUSTAINABLE GOALS
R-ryuubin
お金のことや、
人生のこと、
相談できるから、
夢がひろがる。

はたらくあなたの、
いちばんそばに。

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険
- ▲ サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険
- ▲ 介護保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ すみっこ商店

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198

JR総連・各単組賛助団体
鉄道ファミリー 検索

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター
ピットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop